

神奈川県立みどり支援学校 学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	令和6年度 第1回みどり支援学校運営協議会		
開催日時	令和6年6月24日(月) 10:00~12:00		
開催場所	みどり支援学校 会議室		
出席者	神奈川県立みどり支援学校 学校運営協議会委員 9名(本校校長を含む) 神奈川県立みどり支援学校 学校運営協議会事務局教職員 11名		
次回開催予定日	令和6年11月6日(水)		
問い合わせ先	みどり支援学校 副校長 二見 浩明 電話 045-471-7941 Fax 番号 045-474-4707		
下欄に掲載するもの	議事録	議事概要とした理由	
審議(会議)経過	<p>審議(会議)事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校長挨拶 多くの委員の皆様にご多忙の中、集まっていたことへの謝辞とともに、今後4年間の本校の教育計画について、職員や生徒、保護者の意見をもとに、昨年度の運営協議会でもご意見をいただき作成することができたことなど、開会にあたり挨拶を述べた。 2. 委員委嘱 学校長より委員の委嘱を行った。 併せて、各委員から自己紹介を行った。(引き続き事務局も紹介) 3. 会長・副会長選出 規則に則り、名執 委員 が会長、林 委員 が副会長 として選出、承認された。 4. 議事 ここより、議事進行を名執会長が行う。 <ol style="list-style-type: none"> (1) みどり支援学校 学校運営協議会について(副校長) みどり支援学校の学校協議会運営要項を参照し、協議会の目的、今年度の実施予定、設置する部会などについて説明を行った。 続いて、開かれた学校、そして現在は地域と共にという考え方のもと、この協議会があることなど、会長より補足説明を加えた。 質疑は、(2)とまとめて行うこととした。 (2) 学校教育計画(令和6年度~令和9年度)について(教頭) 学校のミッション、学校教育目標、ランドデザイン、4年間の目標について説明を行った。 4年後にどのような学校であってほしいか、昨年度より、生徒、保護者の意見、教員のキャリア別での討議などにより、この教育計画を策定した。 学校教育目標等に使われている表現も、職員、児童生徒、保護者が同じイメージが持てるように、子どもたちの姿を表し、わかりやすい表現を使うことにした。 そして、それらを達成するために、1年ごとにどのように取り組むかをロードマップに表した。 <p><質疑応答> 会長より、県立学校の学校評価のシステムについても、補足説明を加えた。 (質問) ロードマップについては、今後、年度ごとの微修正等を行うのか。 (応答) 修正を行っていく。 (意見) 昨年度は年度ごとに切れていたが、4年間の取組みを構造的に確認しやすくなった。 (意見) 昨年度までは、このような詳細な計画をつくっているとは知らなかった、アンケートなどで意見を言うことはできたのだが、今年は、具体性があり細かいのでとてもわかりやすい。 (意見) 昨年度の反省や保護者の意見を取り入れるなどの工程があり素晴らしい。また、ランドデザインで見やすく具体的、詳細的に書かれているのでわかりやすい。</p>		

<p>審議(会議)経過</p>	<p>(質問) 社会で生活・仕事をする上で意思決定支援を大事にしている。自分で感じたことを表現できることが大事。グランドデザインでそれがどこに当るのかわを知りたい。</p> <p>(応答) グランドデザインの中では、「思いを伝える」ということに集約されている。また、「確かな学び」や「豊かな人間性」というところからつながっている。</p> <p>(意見) 目標に関する5つの視点が連動していないと意思決定につながらない。連動すると良い。</p> <p><承認> (1)、(2)について異議なく承認された。</p> <p>この後は、学校評価部会も併せて行い、引き続き名執会長が議事を進行した。</p> <p>(3) 令和6年度学校評価(目標設定)について(副校長) 令和6年度の目標設定や方策について、5つの視点ごとに説明し、目標達成のためのマトリクスも併せて紹介した。 また、それぞれの視点に関する説明の途中で、グループの総括教諭4名からキーポイントになる内容について補足説明を行った。 加えて、会長より県立特別支援学校の目標設定について、ここにある5つの視点で設定することになっているなど、補足説明が加えられた。 内容が多くなるので、視点1～3と視点4、5の二つの内容にわけて説明と質疑を行うこととした。</p> <p>視点1については、「教育課程 学習指導」の視点で資料に従って説明を行った。途中、教務企画GLより、昨年作成した教科ごとのシラバスについても説明をした。 続いて、視点2「児童生徒指導・支援」について、及び、視点3「進路指導・支援」について説明を行った。視点3については、キャリア教育リストについて、支援連携GLより説明をした。</p> <p><質疑応答(視点1～3)></p> <p>(質問) 「個別最適の学び」「協働的な学び」とは何か。 (応答) 指導を個に応じて個別化して考えることや、集団や他者との関係等を育む学びなども考えられる。 (意見) これからの学校で必要になってくる内容である。 (意見) もともと特別支援学校では個別での視点による指導が主であった。 (意見) 協働的な学びは対話的な学びで行っている状況がある。高校でもこれからは、「個に応じた指導」がより必要になってきている。個別指導計画は立てないにしても教員が支援を必要としている部分に目を配りながら取り組んでいくことが必要になってくる。 (意見) 子ども自身が自分で自らに必要な支援をわかることも大事になってくる。 (意見) これからは自分で必要な支援を考えていけることも重要になってくる。 (意見) これまでの説明では、「個別」や「協働」について、人によってそれぞれ違うので、さじ加減が大事になってくると思う。 (意見) この項目(「個別最適の学び」「協働的な学び」)については(達成の)評価が難しい。委員が判断できる具体的なものが必要で、中間報告以降工夫してほしい。 (質問) 「みどりのキャリア教育リスト」のイメージとはどんなものか。 (応答) 既存のリストをいろいろ活用しつつ、小中校一貫したものを今後考えていきたい。中間報告で途中経過をもとに御意見をいただきたい。 (意見) 以前、示したリストもあるので、ぜひ参考にしてもらいたい。 (意見) 「協働的な学び」について、今まで大人との関係を望んでいた(自分のルールがあり他の子どもとの関係を拒んでいた)子が、最近子どもたちとの関係を楽しめるようになってきた。難しい内容だが、学校でどんな感じに取り組みがされるのか楽しみである。</p> <p>続いて視点4と5について説明を行った。 視点4「地域等との協働」及び、視点5「学校管理・学校運営」の今年度の目標について説明を行った。また、この中で教育推進GLより実際の災害をより想定した防災への取り組み、管理運営GLより会計システムの整理等について説明を行った。</p> <p><質疑応答(視点4、5)></p> <p>(意見) 教育情報の発信について、学校の存在は分かっているがそれ以上にはなっていない。ホームページよりも SNSの方が、発信力やレスポンスもある。</p>
-----------------	---

	<p>(意見) ガイドヘルパーで卒業生を連れていくことがあり、ホームページは見たことがある。</p> <p>(意見) ホームページは、自分から見に行かないと閲覧しないので、SNSでの発信の方が良いのではないか。</p> <p>(意見) 高校は生徒が個々で SNS を使い発信するが、学校としては発信していない。</p> <p>(意見) 他校では SNS で発信しているところもある。</p> <p>(意見) ホームページは関係のない部外者は見てはいけないと思っている人もいるようだ。ボランティアの募集などもなかなか見る人が少ないだろう。</p> <p>(意見) 自治会の防災会議で、障がいのある方たちが、在学時はいいが、社会に出た後の災害時の支援が心配(何が必要か地域の理解)ということが話題に上がった。</p> <p>(意見) コロナ禍も開けて、仕事を増やしてしまうかもしれないが、防災宿泊なども以前のように地域と一緒に試してみようか。</p> <p>(応答) 福祉避難所なども含め、地域の方と今後連携して検討していきたい。</p> <p>(意見) 会計について学校で通帳をこのようにたくさん扱っているとは知らなかった。PTA 会計の銀行での名義変更だけでも時間がかかった。</p> <p><承認> (3)について異議なく承認された。</p> <p>会長が議事を閉めた。</p> <p>5. 事務連絡(副校長) 次回の予定と各部会について 次回第2回は、11月6日(水)9:30開始で学校見学も含めて行う。 この全体会の後、2つの部会をそれぞれの場所で行うことなど連絡した。</p> <p>6. 学校長挨拶(学校長) ご出席いただき、多くのご意見をいただいたことに大変感謝をしている。今回、ご指摘いただいたことを今後の実践や運営にぜひ活かしていきたい。</p> <p>7. 会長挨拶 学校から聞きたいことはさらにあつたが、時間の関係上難しいので、今後の取り組み方やポイントを絞るなど、学校とも相談していきたい。 この(年度始めから今日までの)3か月間は学校運営協議会を行わずに運営されている。これは、承認されない状態で運営されていることになる。 現実的にはそれでも(学校教育を)進めていくしかないのだが、次年度以降は、例えば、年度末に途中まで検討を終わらせておく、1回目の運営協議会をもっと早く開催するなど何等かの工夫が必要かとも考えているなどと述べ、会全体を閉めた。</p>
<p>会 議 資 料</p>	<p>① 令和6年度第1回神奈川県立みどり支援学校 学校運営協議会次第</p> <p>② 令和6年度神奈川県立みどり支援学校 学校運営協議会運営要項</p> <p>③ 学校教育計画(令和6年度～令和9年度)</p> <p>④ 神奈川県立みどり支援学校ランドデザイン</p> <p>⑤ みどり支援学校 4年間の目標達成のためのロードマップ</p> <p>⑥ 令和6年度みどり支援学校学校評価 目標設定</p> <p>⑦ 令和6年度 学校目標達成に向けたマトリクス</p> <p>⑧ 令和6年度みどり支援学校学校評価 目標設定 (各グループ集約版)</p> <p>⑨ 神奈川県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則</p> <p>⑩ 神奈川県立学校のコミュニティ・スクールの手引き(7ページまで)</p> <p>⑪ 説明用スライド資料</p>